

中1

数学

ポイント

名前 _____

正負の数 大小と絶対値

_____ 月 _____ 日

まとめ 正負の数 大小と絶対値

標準

数直線上で、0 からその数までのきよりを絶対値という。正の数は絶対値が大きいほど大きく、負の数は絶対値が大きいほど小さい。

例

(1) -7

$\rightarrow 7$

$-7 \rightarrow 7$

絶対値は、数から符号をとったもの。0 の絶対値は 0

(2) $-3, -5$

$-3 > -5$

$-5 < -3 < 0$

負の数は、絶対値が大きいほど小さい

(3) $+2, -4, 0$

$-4 < 0 < +2$

$-4 < 0 < +2$

(負の数) $< 0 <$ (正の数)。3つの数は不等号の向きをそろえる

(4) $-\frac{1}{2}, -\frac{1}{3}$

$-\frac{3}{6}, -\frac{2}{6}$

$-\frac{1}{2} < -\frac{1}{3}$

$\frac{3}{6} > \frac{2}{6}$

分数は通分して、絶対値を比べる

